

いのちの言の葉2013

富山県教育委員会平成25年度いのちの教育総合支援事業

「自分のいのち」

朝日町立さみさと小学校 6年
平成26年1月29日実施

黒部市立若栗小学校(平成25年7月2日)、黒部市立荻生小学校(平成25年7月3日)、黒部市立田家小学校(平成25年7月5日)、黒部市立生地小学校(平成25年7月9日)、黒部市立宇奈月中学校(平成25年9月25日)、黒部市立三日市小学校(平成25年10月31日)、朝日町立あさひ野小学校(平成26年1月10日)、滑川市立田中小学校(平成26年1月23日)、魚津市立大町小学校(平成26年2月6日)、黒部市立宇奈月小学校(平成26年2月7日)、滑川市立南部小学校(平成26年2月15日)、黒部市立石田小学校(平成26年3月3日)でも実施

【授業の概要】

- 1 赤ちゃんの誕生
- 2 家族の思いとつながり
- 3 成長に携わった人々への感謝の気持ち
- 4 親子とのふれあい



(お母さんより) いつも怒ってばかりのお母さんのでごめんね。〇〇を産んだ時は、嬉しくて愛しくて一生大事に育てようと思ったのに、どんどん、もっとできるように、もっと困らないようにと欲が出てしまい、ついつい言い過ぎてしまいます。ただ、それが〇〇が大人になって、お父さん、お母さんと離れて生活するようになった時に、社会の一員となった時に、お母さんになった時に、少しでも〇〇の役に立ってくれていれば嬉しいです。〇〇が大切なのは、今までもこれからもず〜っと変わらないからね！



(家族へ) 12年間、お世話を一生けんめいに行ってくれてありがとう。そして、わたしをうんでくれて感謝しています。いつも反こう的になってしまって、思ってもいないことで傷つけてしまうこともあると思うけど、20才までの8年間、これからもよろしくお願いします。そして、もう一度ありがとう。

【いのちの先生】

水島 香苗先生
・助産師

(家族へ) 今までの12年間の間、ここまで育ててくれて、ありがとうございます。お母さんやお父さん、兄弟や祖母、祖父、その他の人々の愛情のおかげで、ここまで立派に育ちました。この命の授業を通して、改めて感謝したいと思います。これからも立派に自立できるよう、よろしくお願いします。



(ママより) はじめての子だったので、〇〇が生まれてきた時、皆とてもよろこんで、パパとママは幸せいっぱいでした。パパとママの仕事が忙しくて、〇〇には小さいころから、さびしい思いをさせ、我慢もたくさんしてきたと思います。でも、〇〇はわがママも言わず、妹と弟のめんどうも見てくれる優しいお姉ちゃんになってくれました。友達が大好きで、絵をかくことが大好きで、一つのことに集中してあきらめずにやりとげようとする姿勢は、家族の中では〇〇が一番だと思います。小学校生活もあと少しです。楽しく思い出に残る学校生活を過ごしてください。ママの自慢である〇〇が、これからどんな大人になっていくのか、とても楽しみにしています。がんばれ！